



ベニマシコ

入学準備金3月支給へ！

長年の運動実る

第2回定例会が、13日から始まり、本会議で補正予算について担当者から提案がありました。

その中で、準要保護者に対する就学奨励費の補正予算が提案されました。この問題は、「新婦人の会」など、市民が粘り強く運動し、松浦議員も何度も取り上げてきました。

国の要保護児童生徒援助費補助金における「新入学児童生徒学用品費等」の単価及び支給時期の見直しを受け、準要保護者に対する就学援助費についても同様に直直しを行うものです。予算総額は、小学校で、

入学準備金（就学援助費）

現行		変更後	
支給額	20,470円	支給額	40,600円
小学校		小学校	
中学校	23,550円	中学校	47,400円

私達は平和の声を上げ続ける！



「今が頑張り時」と声を上げる参加者（道の駅前）

『共謀罪』は廃案！

松浦議員は「貧富の格差が広がる中、実現の見込みとなり嬉しい。引き続き充実した教育のため、みなさんと力を合わせたい」と話しています。

9日（金）午後6時から『道の駅』で平和を求め「共謀罪」の廃案を訴える集会とデモが行われました。主催は「平和の願いを網走から」。毎週金曜日の集会は、この日で2周年となり、労働組合や、※3色旗を持った方、平和運動を続ける「ストップ！戦争法網走の会」や一般市民が参加しました。

9日（金）午後6時から『道の駅』で平和を求め「共謀罪」の廃案を訴える集会とデモが行われました。

松浦奮戦メモ

12日、日本体育大学高等支援学校で、今年入学した19名の生徒と市議会議員が一緒に桜の木15本を学校のグラウンド沿いに植樹しました。



午前11時から、作業を開始し、生徒達と議員が5班に分かれて協力しながら、植樹を行いました。意外と土が柔らかく、作業は順調に進みました。

この日はとても寒い日で、外での作業は寒さが身にしみましたが、桜にとっては、カンカン照りよりも良かったのではないのでしょうか。小さく細い桜の木が、「見応えのある桜になるまでは10年ぐらいかかる」のではないかと樹木に詳しい議員が言っていました。「それまで元気に生きていたいね」と冗談を言いながら、最後に生徒達とお茶で乾杯をしてお別れをしてきました。

街・スポットライト



リーフを配布する会員（6日）

2年前から実施しています。これまでに、「秘密保護法」「集団的自衛権」「戦争法・安保法制」のリーフを配布しました。

『ストップの会』は6日、7日の両日、高校生に「これが共謀罪です」のリーフの配布をしました。未来を生きる若い学生に「少しでも社会や政治を知ってほしい」と

流氷

核兵器禁止条約の採択をめざして国連での会議が始まる。▼長年、日本各地で集めてきた核兵器廃絶署名が国連に届けられて世界を動かし、あらたに「ヒバクシャ核兵器廃絶国際署名」の活動も取り組まれて一年余り。▼以前、網走で若いお母さん達が企画し講演をした田中優氏の著書『戦争って、環境問題と関係ないと思ってた』に世界中で核実験が繰り返られ、いわば地球規模で人体実験がなされたピークの1950～1980年代に日本の死産数の統計がふえたことを示す厚労省のグラフが載っている。自分が生まれ、その後、政治どころかその頃流行した歌やドラマの記憶もすっぱり抜けている程、がむしゃらに子育て真最中だった時期までと重なる。▼関心を持たなくてもその時の政治や法制度の結果に私達は命さえもおびやかされると思い知らされた。▼アメリカの戦費には日本人の銀行預金から出資し、それを後押ししているのが日本政府。▼歪んだ選挙制度で憲法違反で、選ばれたフリをしている政府を通して私達は今世界で起きている戦争に加担し私達の税金で調達された武器が世界中の人々を殺しているという事実。▼憲法が壊され9条が壊され、ひとたび軍需産業が広がったらもう元へは戻れない。軍需産業が基幹産業となってしまうアメリカが戦争せずにはいられないのと同じ轍を踏むことになる。▼だから。うるさい年寄と思われてもいい、と開き直って語り続ける。（た）